

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第2回高松市伝統的ものづくり振興審議会
開催日時	平成28年8月30日(火)15時00分～
開催場所	高松市役所7階71会議室
議 題	(1)平成28年度高松市伝統的ものづくり振興事業について ア報告事項 (ア) 伝統的ものづくり親子体験教室 (イ) 香川漆芸魅力発信事業 (ウ) 伝統的ものづくり振興事業補助金 イ審議事項 (ア) 伝統的ものづくり人材育成県外派遣事業 (2)その他
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	一部非公開（高松市情報公開条例第7条に該当）
出席委員	5 人 池田委員、香川委員、泉川委員、谷委員、本多委員
傍聴者	0 人 (定員 5 人)
担当課および連絡先	産業振興課創造産業係 839-2411

審議経過および審議結果

(事務局)
開会のことば

～事務局より議題説明～
(1)平成28年度高松市伝統的ものづくり振興事業について
ア 報告事項
 (ア) 伝統的ものづくり親子体験教室
 (イ) 香川漆芸魅力発信事業
 (ウ) 伝統的ものづくり振興事業補助金

～事務局より議題(1)平成28年度高松市伝統的ものづくり振興事業について資料をもとに報告～

(会長)
事務局からの報告について何か質問はないか。

(委員)
親子体験教室の応募が多数となっているが、もう少し人数を増やせない原因はなにか。

(事務局)

1回の教室で講師が教えることのできる人数の限界と開催回数の調整がある。予算の関係もあるが、多数応募いただいている状況も踏まえ、方法等を検討していきたい。

(委員)

香川漆芸魅力発信事業のギャラリストとの意見交換はどのような意見交換がされたのか。

(事務局)

個々の悩みの部分等を一問一答方式での意見交換を行った。例えばマーケットの要素、希少価値・美術的価値やブランディングについての意見交換や世界に誇れる日本の伝統的なモノや技術の生きる市場など事例を交えた話もあり、参加者の発言も多く、新しいポイントや学ぶポイントの多い内容だったと感じている。

(委員)

伝統的ものづくり振興事業補助金についてだが、成果として補助金を出す以上見えるものが必要。何かを実施しただけで終わらないようなフォローも大事。

(委員)

申請案件がたくさんあった場合は按分する等での採択はできないのか。また審査の体制については、外部からの意見をいれたほうがいいのではないか。

(事務局)

申請案件に対して、按分に関しても当初検討したが、補助金額が少なくなった場合に実現が困難となる場合等、補助するのであればある程度のまとまった金額の必要性があると判断した。審査については、次年度以降、審議会を活用するなど、外部からの意見を入れる等検討したい。

～事務局より議題（1）のイ

(ア) 審議事項 伝統的ものづくり人材育成県外派遣事業について 説明～

(会長)

何か質問はあるか。

(委員)

報告書等必ず成果が分かるように審議会でも示してほしい。

(委員)

マーケティングに興味がある。金沢市の仕組みがそっくり高松市で生かせるわけではないが、学べるものは吸収してほしい。

(事務局)

計画書と報告書はもちろん、事前のミーティング等で目的意識をメンバー間共有し、異業種ネットワークを生かした派遣事業となるようバックアップしたい。